

## 安曇野市自転車活用推進協議会 会議概要

1	審議会名	安曇野市自転車活用推進協議会 (第3回)
2	日 時	令和3年10月27日 午前10時02分から午前11時47分まで
3	会 場	会議室 306
4	出席者	益山代利子、平林功、二木正之、細野脩一、浅香英二(代理出席)、小林可奈子、土屋征寛(代理出席)、前田正一、矢口太輔(代理出席)、横田耕太郎
5	市側出席者	高嶋政策部長、丸山政策経営課長、赤沼政策経営課長補佐、高橋主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人0人	記者0人

## 協 議 事 項

1	開会
2	会長挨拶
3	議事
(1)	報告事項
	市内の自転車事故の状況等について
	[趣旨]
	市内の自転車事故発生箇所について、地図で説明。
	[質疑応答]
	・事故の場所とサイクリングコースの関係は →重ね合わせたかたちで説明。11番がコース上にある。高い建物がなく見通しが悪いわけではない。
	・観光客と市民の区分はわかるか。 →調べられる範囲で調べてみたい。
(2)	協議事項
	安曇野市自転車活用推進計画の素案について
	[趣旨]
	前回の協議会での意見を受けた対応について
	ア 安曇野サイクルブランドについて
	イ 自転車ネットワーク計画について
	[質疑応答]
	(安曇野サイクルブランドについて)
	・安曇野サイクルブランドについて、事業が不確定な部分があり明記できない部分もわかるが、読み手に具体的なイメージを持たせるため、事業の例示を記載したらどうか。 →検討する。
	・観光部局は「ポタリングでいい」と言っている。我々委員がサイクリスト向けの事業など

を様々考えても、温度差が否めない。観光部局の意欲をかねているところがある。

(サイクリングコースについて)

- これは「計画」であり、必ず実現するという性格でないと考えれば、「Dコース」として明科地区を主にしたコースを書いておくべきではないか。  
→計画では、観光部局でモデルコースなどを考える取組みになっている。その中で観光部局とともに検討したい。この段階で確約することは難しい。
- 市のコースと観光部局のコースは別であるというのは混乱があるのではないか。  
→この計画でいうサイクリングコースは、もちろん観光客の皆様にも利用していただくものであるが、基本的には市民の健康づくりの部分に位置づけているものである。
- では、市民のための「健康づくり」の施策を第1とした方がよいのではないか。読み手が迷わないように、観光のためのマップは別にあると書いた方がよいのではないか。  
→検討する。
- 計画記載の「コンセプト」であるが、Aコースの「水」が具体的なイメージがわからない。「コンセプト」は少し言葉が強いのかも知れない。この言葉は外した方がよいのでは。  
→この「水」は飲み水のほか、拾カ堰などを念頭においている。表現については対応する。
- Bコースなどからはリンゴの花を着想する。マップを作るときは、見どころのような趣旨で花の咲く時期などの情報を書いたらどうか。  
→そのような方向で検討を進めている。
- この3つのコースは穂高駅が中心ではないので、観光客向けでないのは確かである。スタート地点のシェアサイクルの配置台数が少ないことも課題である。安曇野を知っている人でなければ堀金の道の駅には行かないだろう。情報提供の方法について検討して欲しい。
- 穂高駅には駐車場があるので、その活用を考えて欲しい。この3つのコースは「健康づくりのためのモデルコース」というくらいの表現でもいいのではないかと思う。
- 道の駅に駐車スペースがあるのは分かったが、何故堀金の道の駅をスタートとゴールにしたのか。新潟方面から来たら穂高に、松本方面から来た人は三郷にという視点がないのではないか。サイクリストは車で来るし、必ず駐車場を探す。様々なところに駐車場を整備し、穂高や豊科からでもスタートとゴールができるような考え方が必要ではないか。  
→新たな駐車場整備は難しい。公共機関等を利用していただくこともできる。駐車場などについてはマップの方で周知していきたい。
- 距離を楽しむサイクリストと観光客のルートは全然違う。健康増進を目的とすれば、このコースでよいと思う。経験からすれば、駐車場の情報は欲しいところなので、是非情報提供して欲しい。
- 駐車場の情報に加えて女性目線ではトイレや休憩場所についての情報があれば望ましい。公共機関を利用してよいなら、その旨を表示していただくとありがたい。
- 堀金道の駅についていえば、サイクルスポーツの意義の1つはコミュニケーションである。それには集まって、話ができて、食事ができるという場所が必要である。そのためには堀金道の駅が1つの拠点としてふさわしいのではないかと思う。
- 廃線敷は(自転車の)観光資源として活用できるだろう。
- 原則禁止と聞いているが、自転車が乗り入れると荒れるので、地元の維持管理が大変な部分があることが否めない

(その他)

- 横文字などについては分かりにくいので検討して欲しい。  
→全般的に注釈を入れる等の工夫を行う。

- ・サイクルトレインが難しいという話はわかったが、やはり計画の中には書くべきではないだろうか。
- ・北アルプスでは JR の方も委員に入っており、計画の中に盛り込んでいる。ただし、JR の側からは施設整備が難しいと言われている。  
→広域的な課題である。他の自治体にも動きがあるのであれば、計画の中に書かせていただく。
- ・サイクルスタンドの写真はいいのだが、女性向け・子ども向けのものもあるので、必ずしもこの写真のようなものだけではないことがわかるようにしてほしい。  
→対応する。

[結論]

協議会では、素案について次のような意見があったことを確認した。

- (1) サイクリングコースについて、健康づくりで位置付けるのはよいが、その旨がわかるように書いて置くのが望ましい。
- (2) 駐車場について検討するのが望ましい。特に駐車場の情報はサイクリストにとって重要なので工夫するのが望ましい。
- (3) サイクルトレインについて追記するのが望ましい。
- (4) 何を目指した計画なのか、端的にわかるような工夫があれば望ましい。

(以 上)